



JA兵庫みらい
 営農経済部 あぐり創生課
 TEL 0790-47-1282
 FAX 0790-47-1674
 2025. 9月号

園芸 【タマネギを作ろう】

効能

タマネギには疲労回復、血液サラサラ効果、食欲増進、便秘予防、動脈硬化予防、免疫力アップ、むくみ解消など様々な効果が期待できます。毎日の食事に積極的に取り入れて健康維持に役立てましょう。



苗作り

タマネギの種まきは、早生では9月中旬、中生で9月中下旬、晩生で9月下旬になります。定植は11月初旬～月末になります。種まきの1～2週間前までに牛ふん堆肥3kg/m²、果菜ゴールデン有機60g/m²、マルチサポート1号40g/m²、セルカ120g/m²を入れ耕起します。種をまく量にあわせて幅を決めて畝を立てます。5～6cm間隔にまき溝をつけて2cm間隔で種をまいた後、覆土をして水を十分にかけます。寒冷紗をかけると乾燥防止、害虫予防、発芽率を高める効果があり発芽したら取り除きます。発芽後20日して野菜専用化成20g/m²を追肥した後ふるいで間土をいれます。茎の直径が5～6mm程度になるまで育苗します。

畑の準備

植え付けの1～2週間前に牛ふん堆肥3kg/m²、果菜ゴールデン有機100g/m²、マルチサポート1号40g/m²、セルカ120g/m²を入れ、よく耕しておきます。植え付け前に畝を立て穴あきマルチを張ります。苗は根を3cmほど残してハサミで切り、10分から15分ほど水に浸すことで活着がよくなります。植え付けは、マルチの穴に3cmほど深めに植えしっかりと土を寄せます。



追肥

根をしっかり張らせる為に、植え付け半月後に1回、2月上旬に1回、3月上旬に1回を目安に1回当たり野菜専用化成を20g/m²を施肥します。畑の準備の時に果菜ゴールデン有機をたまねぎとねぎの達人(400本/5kg)に変えることで追肥を簡略化することもできます。枯れた葉があると病気の原因になるので取り除きます。

収穫

葉が圃場全体の8割程度倒れた頃を目安に、引き抜いて収穫をします。畑で2日ほど乾燥させてから日陰に取り込みます。つるすときは葉を長めに残して下さい。

病害虫について

べと病は雨が多いと発生しやすいので注意が必要です。またアブラムシによる病気の媒介や、アザミウマによる葉の食害などがあるので、何かありましたら最寄りの営農生活センターにご相談下さい。

水稲

【稲の刈り取りと乾燥・調製について】

早生品種の収穫時期になりました！！



適期収穫と適正乾燥を心掛け、丁寧な仕上げ・調製作業をおこなってください。また、農作業の効率を上げ、事故を防ぐためにも事前に機械の点検・整備をおこない、適度に休憩をとりながら無理のない作業を心掛けましょう。

刈り取り適期の判断

見た目の判断基準：山田錦で全株の稔実モミの90%、うるち米で85～90%が黄化したときが刈り取りの目安です。(どんとこいは80%です。)

刈り取り時期について：早生のキヌヒカリ・どんとこいでは出穂後35～40日後、晩生のヒノヒカリ・山田錦では40～45日後が目安です。

注意点：早刈り(未熟米、屑米が増えます)、遅刈り(茶米が多くなるだけでなく、胴割れ、穂発芽の発生などにより品質が低下します)は避けてください。早朝からの無理な早刈りはムレ米の原因になりますので、収穫は朝露が落ちてからおこなってください。



異物混入に注意！収穫前に確認してください！！

- 石、ガラス片、草種(クサネムなど)、異物の混入は食品としてのお米の価値や信頼を失いますので、絶対に避けてください。
- 異なる品種を刈り取る場合、コンバイン、乾燥機などは十分に清掃をしてから使用しましょう。
- 雑草・クサネムなどが生えている場合は、除草してから刈り取ってください。

乾燥・調製

- 共同乾燥施設をご利用の方は、収穫後、速やかに搬入してください。
- コンバイン収穫モミはできるだけ早く(収穫後4時間以内)送風乾燥を始めてください。特に早生の収穫時期は外気温が高いため、**ムレ米に注意してください。**
- 仕上げ水分は**14.5%～15.0%**を厳守してください。(過乾燥は胴割れをおこします)
- 高温乾燥による胴割れ米の発生に注意してください。
- 粳すりは、粳の温度が常温近くまで下がってからおこなってください。
- 調製の際、流量が多いと未熟米や屑米の選別が悪くなるので、適正流量でおこなってください。
- 袋は規定のものを使用し、量目は紙袋重量込みの**30.5kg**です。



【ハスモンヨトウに注意しましょう！】

9・10月頃から、様々な野菜や黒大豆などにハスモンヨトウが発生し始めます。一度発生すると一気に増えていき、あっという間に葉を食害してしまいます。ハスモンヨトウが発生した際は、早急に防除する必要があります。栽培している品目によって使用する農薬が変わりますので、お気軽に最寄りの営農生活センターへ相談してください。

問い合わせ先

加西営農生活センター TEL0790-47-1286	三木営農生活センター TEL0794-82-6150	小野営農生活センター TEL0794-63-6905
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------